

S&Uだより

safety & useful 発行 No266

2020年1月10日

(株) マ ル ジ ン

福井 TEL 0778-27-7200 FAX0778-27-7201

名古屋 TEL 0586-81-1895 FAX0586-81-1896

新潟 TEL 0258-94-5772 FAX0258-94-5773

福島 TEL024-983-3970 FAX024-983-3971

年末年始の気分を感じないまま 年が明けました。こんな穏やかな年明けは 久しぶりのような気がします。ありがたいことです。思えば 2019 年は元号が変わるという 大きな節目の年となりました。

「令和元年」一万葉集「梅花の歌」一

初春の令月にして、

気淑(よ)く風和ぎ、

梅は鏡前の粉(こ)を披(ひら)き、

蘭は珮後(はいご)の香を薫(かを)らす。



この歌は 730 年、大伴旅人の同僚や友人を招いた宴で「梅に関する和歌」を 32 首、詠まれました。梅の開花とともに、春の訪れを喜んだ内容だと言われています。そのときの序文として、この「梅花の歌」が寄せられたとのこと。

この歌から、新元号「令和」が引用されました。初春の佳き月で、空気は清く澄みわたり、風はやわらかくそよいでいる」という意味。季節が春に向かおうとしているのどこで麗らかな様子が描かれています。

「令和 2 年」初めて歌の意味の梅の香は 令和の春に香ることとなります。

北陸は少し先になりますが 暖かい地方では もう来月には梅は咲き やわらかな香りを薫らすことでしょう。

2020 年は どんな年になるのでしょうか？

「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。アスリート達からの素晴らしい感動、海外からたくさんの人が来日、暑さのこと、北海道でのマラソンのこと、良くも悪くも 大きな関心事になることは間違いないでしょう。

さて、厚生労働省「出生数」推計している推計数によりますと、2019 年の出生数は 86 万 4000 人と、初めて 90 万人を下回ったようです。出生数が 86 万人まで減少するのは国立社会保障・人口問題研究所の予測よりも 2 年早く、少子化が想定を上回るペースで進んでいる実態が明らかになりました。出生数から死亡数を差し引いた人口の減少数＝自然減は 51 万 2000 人と去年より 6 万 8000 人多くなり、初めて減少幅が 50 万人を超えるようです。

この 50 万人という数字は鳥取県の人口が 55 万人なので、1つの県とほぼ同じくらいの人口が毎年減っていくことになるということです。少子化対策に力を入れることはもちろん必要ですが、これまで経験したことのない少子化や人口減少が起きることを前提に、国の在り方を考えなければならない時期に来ていると 指摘されています。

出生数が国の予測よりも早いペースで減少する見通しとなった理由について、厚生労働省は「若い女性の人口が減っていることなど、いくつかの要因が考えられるが、こしは『令和』という新しい時代になってから結婚しようと、婚姻の機会を先延ばしにしていた人が多くいたことも、出生数の減少に影響を与えたのではないかと」しています。

また、結婚する年齢が高くなる「晩婚化」も要因の 1 つとされています。さらに収入が少なく生活が厳しいと感じる人が多くいることや、反対に収入が多い人は それなりに責任を伴う仕事についていることで 家庭で育児に携わることができないと感じている人など 子どもを産む年齢が上がっていることなども少子化の要因になっているという指摘もあります。

そして今後 出生数の減少が医療や介護、それに年金といった社会保障制度に大きな影響を与えると考えてられています。具体的には「少子化が進むと 15 歳から 65 歳程度と言われている生産年齢人口が減ります。国の富を作り出して社会保障制度を支える世代が減り、高齢者の数が増えてくるので、社会保障を取り巻く環境は将来的にかなり厳しくなってくると 指摘しています。今までの対策では効き目が無いということですから「子どもが多くなるにつれて、税額が減るだけじゃなくって、助成制度も増えるようにして しかも 2 人目までは少ないけれど、3 人目以降になってくると、税額が減ることも含めて子どもが成人するまでの間に かなりの助成を受けることができる、子どもを増やせばすごい裕福になる・・・」などという 何かすごいカンフル剤的な対策でもないと なかなかこのスパイラルからは脱却できそうにない気がいたします。かくいうマルジンでも 3 人子供がいる人はごくわずか・・・2020 年が「結婚ラッシュ」「ベビーブーム」の社会貢献の年になりますよう 子育て支援していけるといいですね！

マルジン 1 月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

<2020 今年もよろしくお願いします>

2020 年もおかげさまでご依頼多く

混み合っておりますが

天候や みなさんの段取り次第では

進みも良いと思います。

また お声かけてくださいね！

2020年1月第266回は～自分の仕事で咲く～について

モノレールのことではありませんが 令和2年当初の雑感です。

年明け早々 保釈中の身ながら 楽器ケースに入ってレバノンへ逃亡した カルロス・ゴーン被告の逃走劇の話で持ちきりです。遠いレバノンで 日本メディアは外しての記者会見で 自分の正当性について熱弁をふるっております。「カルロス・ゴーンは、ブラジル出身の実業家。2004年に藍綬褒章を受章。ルノー、日産自動車、三菱自動車工業の株式の相互保有を含む戦略的パートナーシップを統括する「ルノー・日産・三菱アライアンス」の社長兼最高経営責任者を務めていたが、2018年11月に東京地検特捜部に金融商品取引法違反の容疑で逮捕され、その後解任された。」一時は カリスマ経営者として世界から絶賛され 栄誉を称えるビジネス書も多々販売されています。日産自動車の窮地を救った神の手も いつからかは不明ですが 天文学的数字で自分や家族の私腹を肥やす行いをして それが問題となり 悪質とみなされ逮捕されるにいたったということです。レバノンと日本は身柄引き渡しの条約を結んでいないことから 今後「逃げっぱなし」になる可能性も指摘されています。「日産も三菱も救った私に あまりにひどい仕打ちをする日本だから 逃げた」ということらしいです。「神の手」を持ったら 何をしても許されるのでしょうか？それは 人それぞれの考え方があるかもしれません。

年明け 毎年安全祈願に参拝させていただいている神社の宮司様より「よい言葉なのでみていただきたい」と 数枚の用紙をいただきました。神に詣でる心や 宮司様の思い 本の抜萃などが記されていました。

「自分の花を咲かせなさい」

他人にどう見られているか、他人からどう評価されているかは、いつも気になることです。褒められればうれしいし、けなされれば哀しい。嫌われれば悲観し、好かれていれば心は安らかです。尊敬されれば生きる勇気を与えられ、反対に軽蔑されたり、無視されれば、生きる自信さえ失ってしまう。それが人間なのです。しかし、他人の評価とは別に、「自分」が存在することも忘れてはなりません。他人の評価には、確かに的確なものもあり、謙虚に耳を傾けることも重要です。また、他人の評価が全てではないことも知るべきです。他人も不完全な人間だからです。

人見るもよし、人見ざるもよし、我は咲くなり (武者小路 実篤)

何はともあれ、「咲く」ことが大切です。それは他人の評価を受け止める主体性の問題と断言していいでしょう。褒められればありがたく受け止め、悪く言われれば、それも受け止めてゆく。しかし、いつも心の底には、他人の評価に関わりなく存在する「自分」を 温かく、しかも冷静に見つめる姿勢がなければなりません。そして、自分だけが咲かせられる花を一番美しく咲かせていこうという決意と努力が大切です。

依頼心や甘えを捨てたとき、力が生まれ道がひらける。自分を愛し、自分の価値に目覚め、他の人も大切に。

(PHP文庫「幸せはあなたの心が決める」渡辺和子著より)

「置かれた場所で咲きなさい」

私が自分の本を読んでもらいたいと思ったのは、社会でうまくいかず打ちひしがれている人、誰からも大事にされていないと思っている人、会社をやめようと思っている人たちでした。私がそういう人にお伝えしたいの、は自分が変わらなければ何も変わらない、誰かに咲かせてもらえたら間違いで、自分が置かれた場所で咲かなきゃいけないと気付かなければダメよということなのです。

(講談社現代新書「昭和の怪物 七つの謎」保坂 正康著より)

諸祈願成就のために 神社に参拝するわけですが「子供の成長、家内安全、健康長寿、はたまた商売繁盛等々」結局のところ 自分の欲求を達成できるよう願うわけですが もっとも身近な親に悪態をついたり、兄弟と仲たがいがいい者が現世の願いを氏神様に祈念したところで 果たして届くでしょうか？

まずは両親に感謝し 親兄弟を敬い感謝し、遠いご先祖に思いを馳せるその気持ちがあつて 初めて往古の氏神様にたどり着くことができるでしょう。と 神社神道の考えをのべておられました。

また 人生の成功は 過去の努力や結果が全てで「若いとき頑張ってきたから 人生が保証される」というような いままでこうしてきたから 今がある・・・ではなくて、いままでの失敗や、挫折やなまけ心といった過去はともあれ、大事なものはこれからの生き方や心構えであり、これからの人生を方向付けるのは、今の生き方にあるんだ・・・

「これからがこれまでを決める」と 東本願寺の参道の掲示板に このような書が掲示されていたそうです。

「親が残してくれたもの」や「過去の栄光や実績」に感謝こそすれ そこに胡坐をかく態度を強く戒める教えます。

神拝詞という祝詞の一節に「直き正しき真心持ちて、誠の道に違ふことなく、負ひ持つ職に勤しみ励み、世の為人の為に 尽くさしめ給え」という表現があります。今 置かれた仕事を通じ世の為人の為に尽くせとすることだそうです。

人にどうこう言える自分ではありませんし 「良い言葉だなあ」と備忘の為 新年の初めに書かせていただきましたが 毎日天候不順な中 現場で頑張るマルジンマン達 まったく楽な仕事ではありません。現場の厳しさに打ちひしがれても また立ち向かう・・・その「花」と言えば「大変なところをありがと、助かったよ」という お客様の言葉。

前出のゴーン氏の咲かせたい「花」はどんな花でしょうか？金ぴかの花？ダイヤちりばめた花？百花繚乱 その花をうらやむ人もあれば ひとそれぞれの名もなき花を愛しんでいる人もいることでしょう。

2020年「マルジンマンの花」が たくさんの人に美しいとっていただけますよう 祈っております。